

第1章 東京らしい景観の形成

第1 計画の対象範囲

この計画は、都全域を対象範囲とし、当該区域を景観法第8条第2項第1号に規定する景観計画区域¹とする。

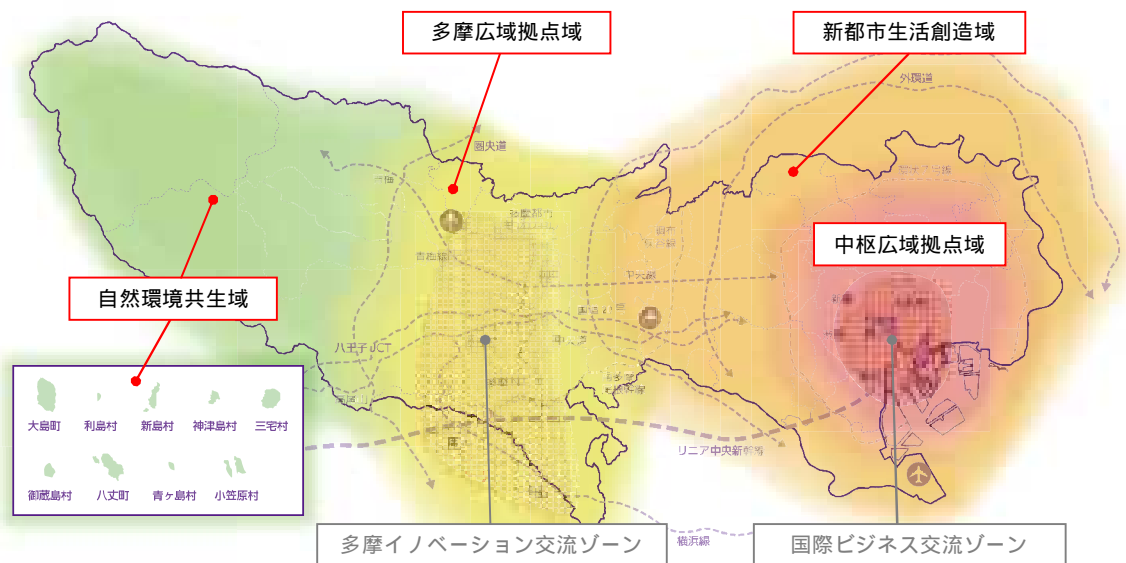
第2 東京の景観特性

都は、平成29年9月に「都市づくりのグランドデザイン」を公表し、目指すべき東京の都市の姿を明らかにした。その実現に向け、都内を4つの地域²と2つのゾーン³に区分し、地域特性と将来像を提示している。

都全域において個性豊かな景観を形成していくためには、各地域区分における景観特性を都市づくりの中に生かし、地域の魅力の向上へとつなげていくことが重要である。

以下、地域区分ごとの景観特性を示すこととする。

図表 1-1 4つの地域区分と2つのゾーン



¹ 景観法第8条第1項の景観計画を区市町村が独自に定めている区域においては、法に基づく行為の制限等は、当該区市町村により各々の景観計画に基づいて規定

² 隣り合う地域区分の境界域は、相互の地域特性が緩やかに変化・融合しながら連続性を持つ。

³ ゾーンの範囲は、高度な都市機能の集積や競争力のある研究開発機能の集積など、既存のストックを効果的に活用するとともに、社会経済情勢の変化等に対応しながら変容し得るものである。

関連する要素

主な崖線の名残をとどめる山

- 港区 : 愛宕山
- 台東区 : 上野の山
- 品川区 : 御殿山
- 北区 : 飛鳥山
- 荒川区 : 諏訪台、道灌山

主な旧大名屋敷

- 千代田区 : 日比谷公園（佐賀藩邸外）、北の丸公園（田安邸・清水邸）
- 港区 : 東宮御所（紀州藩邸）、国立自然教育園（西尾藩邸・高松藩邸）
- 新宿区 : 新宿御苑（高遠藩邸）
- 文京区 : 小石川後樂園（水戸藩邸）
- 渋谷区 : 明治神宮内苑（彦根藩邸）

主な特色ある坂

- 千代田区 : 九段坂、三宅坂
- 港区 : 江戸見坂、紀伊国坂
- 新宿区 : 神楽坂、焼餅坂、弁天坂、八幡坂、高力坂、合羽坂、安保坂、成子坂
- 文京区 : 胸突坂、無縁坂、神明坂、清戸坂、目白新坂、動坂、天神男坂、天神女坂、切通坂、団子坂、菊坂
- 台東区 : 三崎坂、寛永寺坂、七面坂、三段坂
- 品川区 : 相生坂
- 目黒区 : 行人坂、権之助坂、新道坂
- 渋谷区 : 道玄坂、宮益坂
- 豊島区 : 宿坂、妙義坂、小篠坂
- 北区 : 東覚寺坂
- 荒川区 : 富士見坂、御殿坂、地藏坂、七面坂、芋坂、間之坂

東京の成り立ちを伝える街並みや建造物

明治以降、近代的な都市計画が導入され、丸の内周辺や日本橋、銀座、築地周辺などで、新たな都市づくりが行われた。この時代以降に建てられた近代西洋的な建築物の一部は、今も都心部に残り、貴重な景観資源となっている。

明治末以降は、近代国家の建設を意識した都市づくりが行われ、首都を象徴する景観として、皇居や国会議事堂、東京駅、迎賓館、神宮外苑イチョウ並木と絵画館などが、整備されており、夜間にはライトアップが行われている。かつて加賀前田藩屋敷であった東京大学や、水戸藩上屋敷であった小石川後樂園、佐賀藩邸などであった日比谷公園などの大名屋敷跡などが公園、学校などに転用されている。



東京大学



東京駅周辺の夜景

関東大震災後は、震災復興計画に基づく都市づくりにより、都心部の街並みが大きく変貌するとともに、公園、街路、橋りょうの整備などにおいて都市デザイン的要素が取り入れられている。風致地区¹や美観地区²の指定も行われ、都市美の考えが普及し始めた。一方、都市の拡大に伴い、四谷や赤坂、麻布などの山の手地域にも盛り場が成立し、鉄道網の発達とともに、私鉄などのターミナルとなった新宿、渋谷、池袋などが繁華街となり、今日もにぎわいのある景観を形成している。

第二次世界大戦後は、都心の復興とともに東京への急激な人口流入が始まった。昭和30年代以降、高度経済成長を背景にした都市開発などにより、それまで都心の景観を特徴付けていた緑や河川、^{ほり}濠などのオープンスペースや歴史的建造物などが急速に失われ、過密な街並みが広がっていった。

また、昭和39年の東京オリンピックでは、国立代々木競技場などの競技施設が建設されるとともに、首都高速道路の建設や幹線道路の拡幅など、インフラも整備され、今日もなお、レガシーとして利用されている。

昭和40年代以降になると、容積率制度の導入に伴い、100mを超える建築物が建設され、東京のスカイラインの変貌が始まった。近年、特に都市再生緊急整備地域³等において、老朽化したビルが超高層建築物に建て替えられ、新たなスカイラインが形成されている。

¹ 風致地区：都市の風致を維持するために定められる都市計画法に基づく地域地区の一種

² 美観地区：市街地の美観を維持するために定められる都市計画法に基づく地域地区の一種であったが、景観法の制定（平成16年6月）により廃止され新たに景観地区が創設された（既指定美観地区内における屋外広告物規制は継続）。

³ 都市再生緊急整備地域：都市再生の拠点として、都市開発事業等を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域として政令で定める地域（都市再生特別措置法第二条第三項）

関連する要素

主な近代建築

- 千代田区：国会議事堂、市政会館・日比谷公会堂、日本工業倶楽部、ニコライ堂、東京駅、東京ルーテルセンタービル、DNタワー21、旧李王家東京邸、パレスサイドビル、霞が関ビルディング
- 中央区：日本銀行、三井本館、日本橋三越本店、近三ビルディング、ヨネイビルディング、中央区立常盤小学校、中央区立泰明小学校、鈴木ビル、中央区十思スクエア、高島屋東京店、日本橋ダイヤビルディング
- 港区：慶応大学図書館、迎賓館、明治学院、旧朝香宮邸（東京都庭園美術館）、港区立高輪台小学校、高輪消防署二本榎出張所、普連土学園中学校舎
- 新宿区：早稲田大学（大隈記念講堂、2号館（旧図書館））、神宮外苑絵画館、新宿御苑旧洋館御休憩所、早稲田奉仕園スコットホール、日立目白クラブ（本館及び別館）、聖母病院、新宿区立林芙美子記念館、旧小笠原邸、伊勢丹本店本館、紀伊國屋ビルディング、新宿御苑旧御涼亭（台湾閣）
- 文京区：東京大学（広報センター（旧医師会事務局）、七徳堂、農学部3号館）
- 台東区：上野駅、東京国立博物館、国立科学博物館、国立西洋美術館、国立国会図書館国際子ども図書館、東京藝術大学（赤レンガ1号館、赤レンガ2号館、陳列館、正木記念館、旧東京美術学校玄関）
- 墨田区：東京都慰霊堂、東京都復興記念館
- 品川区：カトリック目黒教会聖アンセルモ聖堂
- 渋谷区：明治神宮宝物殿、明治神宮桃林荘、国立代々木競技場
- 豊島区：立教大学（本館、図書館旧館、諸聖徒礼拝堂、第1食堂、2号館、3号館）、自由学園明日館、雑司が谷旧宣教師館
- 北区：渋沢青淵記念財団竜門社（青淵文庫、晩香廬）

主な面的開発、大規模構造物等

- 千代田区：大手町・丸の内・有楽町地区など
- 中央区：日本橋地区、八重洲地区
- 港区：虎ノ門・赤坂・六本木地区、品川駅周辺地区、田町駅周辺地区、東京タワー
- 新宿区：西新宿超高層ビル群
- 文京区：東京ドーム
- 墨田区：東京スカイツリー
- 品川区：大崎駅周辺地区
- 渋谷区：渋谷駅周辺地区
- 豊島区：池袋駅周辺地区

多様な個性と特徴ある地域

戦後の急速な都市化を受けて、景観資源が失われてきたが、今日でも、多様な個性に富んだ景観を形成している地域が多い。

この地域の中心から西部、北部にかけては、皇居周辺や日本橋・銀座、神田周辺、神楽坂といった歴史的景観が残されている地域、新宿や渋谷・青山、六本木、池袋周辺など、多様な都市文化・都市産業のにぎわいを見せている地域、巣鴨や戸越銀座、

下北沢など、特色あるにぎわいを備えた商店街等とともに発展してきた地域、麻布や広尾、代官山など、良好な居住空間として、落ち着きとにぎわいを併せ持つ個性ある地域、雑司ヶ谷、音羽、小石川、上野、本郷など、江戸の街区割りや明治以降の近代の面影を残す地域など、江戸の都市構造の骨格を継承しつつ、多様な魅力を持つ地域が広がっている。また、「富士見坂」や「汐見坂」などの富士山や東京湾を眺望できる場所の多くが都市の中に埋没する中で、超高層建築物の増加は、現代的な眺望の場として、都市のアイデンティティや新たな魅力を感じ取れる場の提供を可能にしている。

この地域の東部には、比較的身近に社寺が多く、その信仰を通じて住民の生活と地域との結び付きが深くなっている。これらの寺社に縁を持つ祭りや縁日の中に、古くからの東京の姿を江戸時代から発達してきた下町らしさとして見ることができる。特に、浅草寺などを中心とした寺町が残る浅草や、七福神巡りの社寺で知られる向島周辺、江戸四宿の一つとして繁栄した千住宿など、江戸の歴史・文化を伝える遺産が多くある。また、明治から大正、昭和にかけて河川沿岸部に工場が立地し、震災復興、戦災復興事業等により道路網も整備されてきた。白鬚地区、亀戸・大島・小松川地区等をはじめ、倉庫・工場群の再開発により、業務ビルや高層住宅等の立地が進むなど、地域全体として街並みは大きく変化しつつある。さらに、都心と下町を結ぶ都電荒川線は、都内唯一の路面電車として親しまれており、沿線の各駅には商店街が立地し、それぞれに特色を持っている。

以上のほか、地域の西部を中心とする武蔵野台地上には、大和郷、目白、松濤、池田山など閑静な住宅街が形成される一方、地域の外周部には、木造住宅が密集し、老朽化が進んだ住宅と狭隘^{あひ}な道路の街並みなど、住環境や防災の面で問題を抱えている木造住宅密集地域も見受けられる。

関連する要素

主な寺町

- 港区 : 芝、泉岳寺、白金
- 新宿区 : 信濃町、矢来町
- 文京区 : 白山、本駒込
- 台東区 : 谷中、浅草
- 渋谷区 : 広尾
- 豊島区 : 雑司ヶ谷
- 荒川区 : 日暮里

主な特色ある街並み

- 千代田区 : 霞が関の官庁街、神保町の古本屋街、秋葉原の電気街、丸の内のオフィス街
- 新宿区 : 新宿の歌舞伎町
- 台東区 : 上野のアメヤ横町、合羽橋の道具街
- 豊島区 : グリーン大通り周辺

主な寺社・仏閣

- 千代田区：日枝神社、靖国神社、神田神社
 中央区：水天宮、住吉神社、築地本願寺
 港区：愛宕神社、青松寺、金地院、東照宮、増上寺、泉岳寺、願生寺、薬王寺、長松寺、豊川稲荷神社、泉福寺、覚林寺、乃木神社、虎ノ門金刀比羅宮
 新宿区：熊野神社、中井御霊神社、葛ヶ谷御霊神社、愛染院、田宮稲荷神社、穴八幡神社、太宗寺
 文京区：吉祥寺、富士神社、湯島天満宮、伝通院、護国寺、根津神社、鱗祥院、源覚寺、目赤不動、白山神社、靈雲寺
 台東区：寛永寺、浄名院、徳本寺、東本願寺、待乳山聖天、五條天神社、上野東照宮、下谷神社、永久寺、浅草寺、今戸神社
 墨田区：野見宿禰神社、法恩寺、回向院、江島杉山神社、本法寺、牛嶋神社、秋葉神社、長命寺、清雄寺、如意輪寺、三囲神社、法性寺、多聞寺、木母寺、正福寺、白鬚神社、弘福寺、吾嬬神社
 江東区：亀戸天神社、龍眼寺、普門院、深川不動尊、富岡八幡宮、香取神社、法乗院、靈巖寺
 品川区：増上寺子院大崎八ヶ寺、誕生八幡神社
 目黒区：大円寺
 渋谷区：明治神宮、金王八幡宮、東郷神社
 豊島区：とげぬき地蔵、南蔵院、目白不動尊、鬼子母神、真性寺、本教寺
 北区：王子稲荷神社、光寺、王子神社、正受院、金剛寺、東覚寺、大龍寺、平塚神社
 荒川区：諏方神社、浄光寺、南泉寺、修性院、延命院、本行寺、経王寺、青雲寺、養福寺、啓運寺、円通寺、小塚原回向院、石浜神社、素盞雄神社、浄閑寺
 足立区：大聖寺など
 葛飾区：香取神社、普賢寺、木下川薬師、白髭神社、南蔵院など
 江戸川区：善照寺、平井聖天、最勝寺

主な商店街とともに発展してきた地域

- 江東区：門前仲町、亀戸、砂町銀座
 品川区：武蔵小山、戸越銀座、中延、旗の台
 目黒区：中目黒、祐天寺
 世田谷区：下北沢、三軒茶屋
 中野区：中野、東中野、中野坂上、新中野
 豊島区：巣鴨、大塚、東長崎
 板橋区：板橋、大山、仲宿
 練馬区：江古田

臨海部のシンボルとなる新しい景観

東京湾岸道路の内陸側では、再開発などが進み、商業・業務、住居など、都市的な土地利用の比重が高まりつつある。豊洲、晴海、東雲は、倉庫・工場跡地などにおいて、中枢広域拠点域の中心部へとつながる立地や水辺を生かし、拠点性の高い複合市街地が融合した景観を形成している。内陸部に沿った竹芝、芝浦、天王洲では、新旧の運河や水路網が多様な土地利用と結び付き、昔ながらの特色ある景観が残存している。

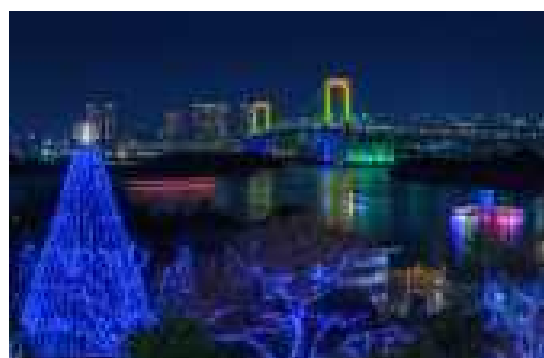
東京湾側には大規模な港湾・物流機能が集積しており、特に大井ふ頭、青海ふ頭を中心とする外貿コンテナふ頭は、広大なヤードにクレーンが林立するダイナミックな景観を作り出している。その周辺には、工業系の土地利用で火力発電所や清掃工場などが立地している。



有明・台場・青海周辺

また、辰巳、八潮に中高層住宅の集積があるが、多くは住工混在の土地利用となっている。

有明・台場・青海などでは、内陸市街地の景観を一望できる立地を背景に、ホテル、商業・業務ビル、高層住宅が建設され、国際都市にふさわしい質の高い複合市街地を形成し、東京の新たな魅力ある景観を創出している。



東京湾の夜景

加えて、ゆりかもめや東京モノレール、レインボーブリッジなどの高架の施設は、海を前景に、都市のビル群を望むことのできる格好の眺望の場を提供しており、夜景を楽しむエリアにもなっている。

さらに、空からの玄関口である羽田空港の国際線旅客ターミナルや東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の施設の建設などにより、シンボリックな施設が、中枢広域拠点域において整備されている。

一方、東京港の埋立地とその周辺では、海の自然を回復し、海辺に親しみながらスポーツやレクリエーションを楽しむことのできる、数多くの公園が造られている。



お台場海浜公園

例えば、様々な海辺のレクリエーションが楽しめるお台場海浜公園、スポーツ施設の充実した大井ふ頭中央海浜公園や有明テニスの森公園、キャンプのできる城南島海浜公園、ゴルフや海釣りが楽しめる若洲海浜公園など、様々な特色を持った公園があり、それらが緑道公園などで結ばれている。

ごみの最終処分場であった中央防波堤内側埋立地において、都民協働による森づくりが進められているほか、埋立地内の野鳥飛来地を保全した東京港野鳥公園では干潟が拡張されるなど、更なる自然回復の取組が続けられている。

関連する要素

主な面的開発・施設等

- 中央区 : 晴海地区、月島地区、勝どき地区、晴海ふ頭、旧防波堤
- 港区 : 台場地区、竹芝地区、芝浦地区、竹芝ふ頭、日の出棧橋、芝浦船溜まり、レインボーブリッジ、ゆりかもめ
- 江東区 : 有明地区、青海地区、豊洲駅周辺地区、東雲地区、クリーンセンター、青海船溜まり、青海コンテナふ頭、東京灯標、西防波堤、12号貯木場、14号貯木場、東防波堤、辰巳水門、砂町水門、東京ゲートブリッジ
- 品川区 : 天王洲地区、大井コンテナふ頭、八潮パークタウン、人道橋(かもめ橋)
- 大田区 : 東京国際空港(羽田)
- 江戸川区 : 荒川湾岸橋
- その他 : 中央防波堤

主な海辺の公園

- 中央区 : 晴海ふ頭公園
- 港区 : 台場公園、お台場海浜公園
- 江東区 : 夢の島公園、辰巳の森海浜公園、若洲海浜公園、有明テニスの森公園、東京臨海広域防災公園、有明親水海浜公園(整備中)
- 品川区 : 潮風公園、大井ふ頭中央海浜公園(他に大田区)
- 大田区 : 東京港野鳥公園、城南島海浜公園
- 江戸川区 : 葛西臨海公園、葛西海浜公園

縦横に巡る水のネットワーク

この地域の東部の土地は平坦で、隅田川を中軸として、江東デルタの内部河川及び神田川につながり、東京の水網都市としての性格を代表する景観となっている。この河川網と多くの橋りょう群は、都市のランドマークとして重要な景観資源となっている。隅田川は、江戸時代から現代に至るまで、都民に親しまれてきたシンボル性の高い河川であり、現在では隅田川沿いのテラスの整備も進み、都民



隅田川橋梁のライトアップ

の憩いの場となっており、夜間には著名橋などのライトアップが行われている。江戸の文人が中国風に墨堤と称した辺りは、現在、墨堤通りとして春には桜のトンネルが続き、隅田川沿いの風景を彩っている。

本来の荒川下流部は隅田川であったが、度重なる大洪水のため、岩淵水門から東京湾に大水を逃がすように造られたのが、現在の荒川である。かつて荒川河口付近(現隅田川)に造られた東西の水路は、江戸時代から上総の国と江戸とを結ぶ重要な役割を果たしてきた。江戸初期に、行徳の塩浜から塩の運搬経路(塩の道)を造るため、道三堀や小名木川、新川が開削された。以来、これらの水路や河川は、様々な物資の運搬や成田山参詣等にも利用され活況を呈してきた。

なお、新川開削以前の舟運路であり、その役割を終えた古川は、日本初の親水公園として整備され、都民の身近な散策路となっている。こうした水路を生かした親水公園や著名橋の整備により、自然としての水辺が、より身近に感じられるようになってきている。

関連する要素

主な河川

隅田川、北十間川、大横川、横十間川、小名木川、亀島川、日本橋川、神田川、築地川、汐留川、古川、目黒川、荒川、古隅田川、綾瀬川、花畑川、中川、旧中川、新中川、新川

主な橋梁

勝鬨橋、永代橋、隅田川大橋、清州橋、新大橋、両国橋、蔵前橋、厩橋、駒形橋、吾妻橋、言問橋、桜橋、白鬚橋、水神大橋、千住汐入大橋、千住大橋、尾竹橋、尾久橋、小台橋、聖橋、お茶の水橋、日本橋、新荒川大橋、鹿浜橋、江北橋、扇大橋、西新井橋、千住新橋、堀切橋、平井大橋、小松川橋、船堀橋、葛西橋、高浜橋、旧弾正橋（八幡橋）

主な親水公園、河川敷、水辺公園等

北区 : 音無川親水公園

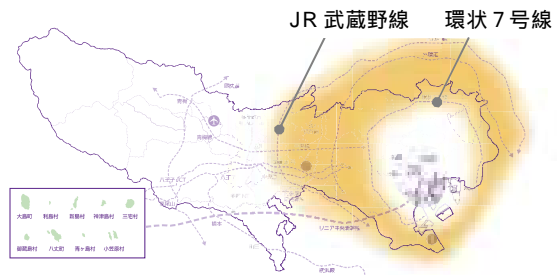
足立区 : 見沼代親水公園、葛西用水親水公園、神明・六木遊歩道、虹の広場、わんど公園

葛飾区 : 曳舟川親水公園

江戸川区 : 古川親水公園、一之江境川親水公園

2 新都市生活創造域

この地域は、おおむね環状7号線から、西側は JR 武蔵野線まで、東側は都県境までの区域である。住宅中心の市街地が武蔵野台地に広がり、周辺区部から多摩にかけて雑木林や農地が残るなど、武蔵野独特の景観を見せている地域である。

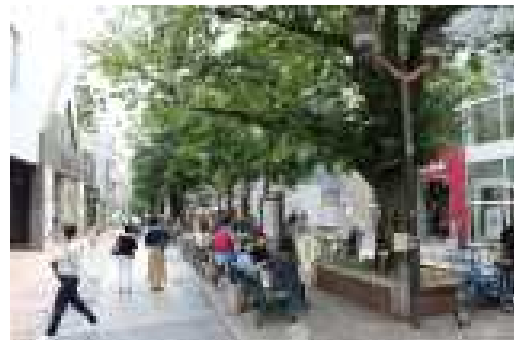


図表 1-3 新都市生活創造域位置図

郊外の鉄道沿線の特色ある街並み

大正年間までに、東京の骨格となる旧国鉄の鉄道網はおおむね完成し、私鉄も京王線、玉川線（現東横線）、武蔵野線（現西武線）など、都内 17 路線が敷設された。

昭和 30 年代半ば頃から、新宿、渋谷、池袋などに百貨店ができ、ターミナル型の商業施設が集積し始め、この地域はその後背地として発展してきた。吉祥寺、三鷹、調布などの主要駅では、駅前再開発などにより、大規模な業務・商業ビルなどが建設されているところも多く、地区の中心としての表情を形成している。また、それぞれ個性を持った商店が軒を連ね、にぎわいを作り出している。



自由ヶ丘駅周辺

中央線沿線や世田谷区、目黒区、大田区等の私鉄沿線に、大学の立地がまとまって見受けられる。緑豊かなキャンパスが立地する駅周辺において、学園都市としての特色を出している地域もある。

中央線沿線や世田谷区、目黒区、大田区等の私鉄沿線に、大学の立地がまとまって見受けられる。緑豊かなキャンパスが立地する駅周辺において、学園都市としての特色を出している地域もある。

なお、中央線や私鉄の連続立体交差事業により、鉄道沿線地域で一体的なまちづくりが進められている。

関連する要素

主な商業拠点

- 目黒区 : 都立大学、自由が丘
- 大田区 : 雪が谷大塚、鶉の木、千鳥町
- 世田谷区 : 経堂、成城学園前、祖師ヶ谷大蔵、二子玉川、千歳烏山、明大前
- 中野区 : 鷲ノ宮
- 杉並区 : 高円寺、阿佐ヶ谷、荻窪、西荻窪、久我山、下井草
- 板橋区 : 成増、上板橋
- 練馬区 : 光が丘、練馬、石神井公園、大泉学園
- 武蔵野市 : 吉祥寺
- 三鷹市 : 三鷹
- 調布市 : 調布

歴史性・文化性に富んだ景観

地域の西部では、戦前までは畑作を中心とする農地が大部分を占めていたが、昭和30年代頃から急速に農地がスプロール的に宅地化され、道路、公園などの基盤施設が未整備なまま市街化したところも多い。

一方、この地域では、深大寺などの寺社や史跡も多い。緑の多い武蔵野の風景について、国木田独歩や大岡昇平などが作品に著しているほか、かつて、山本有三、太宰治、武者小路実篤など、数多くの文学者がこの地に住み、彼らの足跡も残るなど、歴史性・文化性に富んだ景観資源を持つ地域である。



柴又帝釈天参道

地域の東部には比較的身近に寺社が多く、その信仰を通じて住民の生活と地域との結び付きが深くなっている。西新井大師から伊興周辺にかけての寺町のほか、古代遺跡の出土や古墳もある。さらに、かつて農村地域であった柴又地域では、多くの参拝客でにぎわう柴又帝釈天がある。柴又地区は、古来から伝統的な情緒や雰囲気を受け継ぐ地域として、文化財保護法に基づく重要文化的景観に選定されている。

関連する要素

主な史跡・名勝等

大田区：洗足池、宝萊山古墳、亀甲山古墳

板橋区：旧粕谷家住宅

武蔵野市：稲荷神社の絵馬、杵築大社の富士山、独歩の森

三鷹市：長久寺の鷹場石杭、井の頭池遺跡群、国立天文台、神田川上水水源地、国際基督教大学泰山荘、近藤勇の墓、玉川上水、出山横穴墓群、武蔵野の水車経営農家

府中市：府中高札場、馬場大門けやき並木

調布市：近藤勇の生家跡、深大寺城跡、実篤公園

小金井市：小金井（サクラ）（他に小平市など）

国分寺市：武蔵国分寺跡、お鷹の道、真姿の池

西東京市：石仏六角地藏尊

狛江市：弁財天池、狛江古墳群

主な寺社・仏閣等

目黒区：東光寺、常圓寺、八雲氷川神社

大田区：池上本門寺、八幡神社、妙福寺

世田谷区：豪徳寺、浄真寺、烏山寺町

中野区：多田神社、中野氷川神社、東光寺

杉並区：高円寺、井草八幡宮、妙法寺

北区：赤羽八幡神社

板橋区：南蔵院、乗蓮寺、松月院

足立区：西新井大師、炎天寺と八幡神社、国土安穩寺、島根鷲神社、大鷲神社、大乘院など
 葛飾区：半田稻荷、柴又帝釈天、葛飾区山本亭、熊野神社、葛西神社
 江戸川区：宝林寺、浅間神社、熊野神社、昇覚寺、北野神社、大雲寺
 武蔵野市：吉祥寺四軒寺、
 三鷹市：龍源寺
 府中市：大國魂神社おおくにたま
 小金井市：貫井神社、幡随院、三光院、旧自証院靈屋など
 調布市：深大寺、布多天神社、青渭神社、琥狛神社
 日野市：高幡不動
 国分寺市：国分寺薬師堂
 狛江市：泉龍寺、伊豆美神社
 清瀬市：氷川神社、中里富士、日枝神社、清瀬薬師、円通寺、旧森田家
 東久留米市：米津寺、多聞寺、氷川神社
 西東京市：光明山福生院如意輪堂、東伏見稻荷神社、田無山総持寺

新旧住宅地を中心とした街並み

この地域の西部は武蔵野台地の東部に位置し、鉄道の発達とともに、東京の主要な近郊住宅地として発展してきた。

武蔵野台地を刻む神田川などの中小河川が地形の変化を生み出し、南側では多摩川沿いに国分寺崖線が、北側では荒川、新河岸川沿い低地の境の崖線が緑の帯を作っている。

これらを背景に、戦前から計画的に整備されてきた田園調布や常盤台に緑豊かなゆとりある戸建て住宅団地が、高島平や光が丘に高層棟の並ぶまとまった住宅団地が形成されてきた。こうした市街地形成において、土地区画整理事業¹や耕地整理事業²が果たした役割は大きく、世田谷区から大田区にかけての一带、荻窪、西荻窪周辺などでは、歴史と風格ある住宅地としてのイメージが残っている。

なお、道路や公園などの都市施設の整備が遅れたまま、急速に市街化が進んだ地域も少なくない。環状7号線の沿道地域や中央線沿線地域を中心に、木造住宅密集地域が見受けられる。

関連する要素

戦前の特徴的な住宅地等

大田区：田園調布、久が原
 世田谷区：奥沢、成城、上北沢など
 中野区：南台
 杉並区：善福寺、南荻窪、永福町、大田黒公園周辺地区
 板橋区：常盤台
 練馬区：上石神井

¹ 土地区画整理事業：土地区画整理法に基づき、都市計画区域内の土地について、公共施設の整備改善及び宅地の利用の増進を図るために行われる土地の区画形質の変更や公共施設の新設又は変更に関する事業のこと。

² 耕地整理事業：耕地整理法（昭和24年廃止）に基づき、農地の生産力向上のために、土地の交換分合、地目変換、区画形質の変更、道路やかんがい排水の整備等を行う事業のこと。

戦后市街化した住宅地等

- 目黒区 : 八雲・柿の木坂
- 大田区 : 上池台
- 世田谷区 : 公社祖師谷住宅、大蔵団地、八幡山アパート、北烏山アパート、下馬アパートなど
- 中野区 : 江古田アパート、公社鷺宮西住宅
- 杉並区 : 阿佐ヶ谷団地
- 板橋区 : 都営成増団地、公団高島平団地
- 練馬区 : 平和台、光が丘、北町

河川や公園による水郷景観

この地域の東部の地形は平坦で、隅田川から、大場川対岸の埼玉県、その先に合流する江戸川対岸の千葉県までの地域を含め、大規模な河川や公園などによる水郷の景観が見られる。

かつてこの地域は利根川の水系が多くあり、出水を繰り返していたため、河川流路の変更事業が度々行われるとともに、古利根川沿いに堤やため池が築かれ、現在の桜土手や小合溜こあいだめとして残っている。

水元公園は、小合溜こあいだめに沿って造られた都内で唯一の水郷の景観を持った公園であり、小合溜こあいだめから引かれた大小の水路が園内を走り、水辺に強い樹木や水生植物を多く見ることができる。

江戸川、荒川などの広大な河川敷は、都民のスポーツ・レクリエーションの場として活用されている。



水元公園

関連する要素

主な河川

荒川、中川、新中川、江戸川、旧江戸川、毛長川、伝右川、圀川、芝川、新芝川、大場川

主な橋梁

飯塚橋、中川橋、青砥橋、本奥戸橋、平和橋、上平井橋、今井橋、浦安橋、江戸川大橋

主な河川敷、水辺公園等

- 北区 : 荒川河川敷 (他に板橋区、足立区など)
- 大田区 : 多摩川河川敷 (他に世田谷区)
- 葛飾区 : 水元公園
- 江戸川区 : 江戸川河川敷 (他に葛飾区)

雑木林や屋敷林、農地が残る東京の原風景

この地域の周辺区部から多摩にかけては、いわゆる武蔵野と呼ばれてきた地域であり、南側では区部からつながる国分寺崖線や多摩川の河岸段丘が見られ、玉川上水や野川沿い、五日市街道、東京街道沿いの緑など、まとまった緑が景観の特徴をなしている。これらは、多摩広域拠点域にまでその範囲が及び、武蔵野の特徴的な景観を二つの地域で共有している。



国分寺崖線

特に、井の頭池周辺や神田川流域、国分寺崖線沿いの野川公園から国際基督教大学、国立天文台、神代植物公園にかけて広大な緑地があり、街道沿いの屋敷林や並木などと共に、緑豊かな景観を形成している。

また、多摩川や仙川、神田川、玉川上水、野川などの貴重な水辺に加え、昆虫や野鳥の生育を育む、自然豊かな景観を形成している。

しかし、かつては雑木林とそれに囲われた畑が広がる風景が多く見られたが、現在、宅地化の進行とともに雑木林や畑、崖線の緑が失われつつある。

関連する要素

主な河川等

野川、玉川上水、仙川、神田川、入間川、水無川、鳥山川、多摩川

主な緑地保全地区等

世田谷区 : 多摩川風致地区（他に大田区） 国分寺崖線緑地保全地域（他に調布市など）

狛江市 : 狛江弁財天池特別緑地保全地区

小平市 : 玉川上水歴史環境保全地域（他に立川市など）

東久留米市 : 南沢緑地保全地域

主な都立公園・緑地等

世田谷区 : 砧公園、駒沢オリンピック公園（他に目黒区）

杉並区 : 善福寺公園

練馬区 : 石神井公園

武蔵野市 : 武蔵野中央公園、武蔵野の森公園（他に調布市、府中市、三鷹市）、玉川上水緑道（他に福生市など）

三鷹市 : 井の頭恩賜公園（他に武蔵野市）

府中市 : 武蔵野公園（他に小金井市）、浅間山公園、府中の森公園、多磨霊園（他に小金井市）

調布市 : 神代植物公園、野川公園（他に三鷹市、小金井市）

小金井市 : 小金井公園（他に小平市、武蔵野市、西東京市）

小平市 : 小平霊園（他に東村山市、東久留米市）

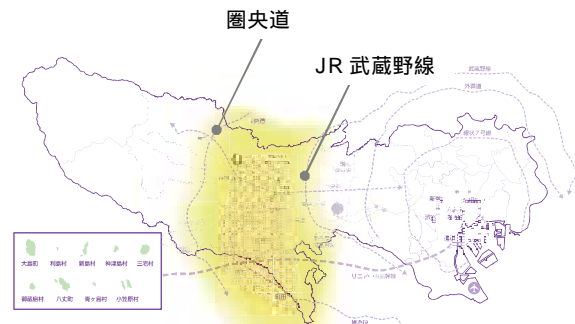
国分寺市 : 殿ヶ谷戸庭園、武蔵国分寺公園

主な里山等

調布市 : 深大寺・佐須地域

3 多摩広域拠点域

この地域は、おおむね JR 武蔵野線から圏央道¹までの区域であり、多摩イノベーション交流ゾーンを包含している。多摩の山地から突き出た丘陵地とそれに続く台地で構成され、その間を多摩川、浅川などの中小河川が流れている地域である。台地部の多くは市街化し、多様な機能が集積する立川や八王子などの拠点がにぎわいを見せている。



図表 1-4 多摩広域拠点域位置図

また、丘陵地にも開発が及んでいるが、樹林や畑などがまだ多く残り、緑豊かな景観が特徴的な地域である。

丘陵地の豊かな緑と連続する武蔵野の面影

丘陵地内部では、丘陵を覆う雑木林、丘陵斜面に開かれた畑、谷底平野に並ぶ水田、丘陵の低地部に連なる古い集落などが一体となっている地域も残されている。

一方、多摩丘陵周辺などでは急速に都市化が進み、開発の波が丘陵地にまで迫っており、緑の保全とともに、緑の再生や創出も計画的に進められている。規模の大きい公園が比較的多く、これらが緑道で結ばれるなど、全体として自然の豊かさが感じられる景観となっている。

新都市生活創造域から延びている国分寺崖線、多摩川、玉川上水が存在し、国分寺崖線下の真姿の池などの湧き水、国分寺跡などの社寺や史跡、雑木林とそれに囲われた畑などが特徴的な武蔵野の景観を形成している。府中の大國魂神社付近は、かつて武蔵国の国府が置かれた地であり、馬場大門けやき並木や旧鎌倉街道沿いの分倍河原古戦場碑など、古代から中世にかけての歴史的資源も多く残っている。

関連する要素

主な丘陵地

狭山丘陵、草花丘陵、加住丘陵、八王子丘陵、多摩丘陵

主な河川等

多摩川、野川、柳瀬川、空堀川、奈良橋川、黒目川、落合川、不老川、残堀川、谷地川、川口川、浅川、大沢川、山田川、城山川、御霊谷川、南浅川、湯殿川、兵衛川、程久保川、大栗川、大田川、乞田川、三沢川、真光寺川、鶴見川、境川、恩田川、成木川、黒沢川、霞川、大荷田川、玉川上水、野火止用水、大丸用水

自然公園

都立滝山自然公園、都立多摩丘陵自然公園、都立狭山自然公園、都立羽村草花丘陵自

¹ 圏央道：首都圏中央連絡自動車道

然公園、都立秋川丘陵自然公園

主な都市公園等

- 八王子市 : 長沼公園、平山城址公園(他に日野市)、滝山公園、小宮公園、陵南公園、富士森公園、片倉城跡公園
- 立川市 : 国営昭和記念公園(他に昭島市)
- 昭島市 : 拝島公園
- 町田市 : 小山田緑地、薬師池公園、芹ヶ谷公園、民権の森公園
- 日野市 : 多摩動物公園、七生公園
- 東村山市 : 東村山中央公園、八国山緑地、狭山公園(他に東大和市)、狭山・境緑道(他に西東京市など)
- 福生市 : 多摩川中央公園、日光橋公園
- 東大和市 : 東大和公園、東大和南公園、狭山緑地
- 武蔵村山市 : 野山北・六道山公園(他に瑞穂町など)
- 多摩市 : 桜ヶ丘公園、中沢池公園、宝野公園、多摩東公園、多摩中央公園
- 稲城市 : 稲城中央公園
- 羽村市 : 羽村市動物公園
- あきる野市 : 秋留台公園、草花公園
- 瑞穂町 : 狭山池公園

主な特別緑地保全地区等

野火止用水歴史環境保全地域、矢川緑地保全地域、狭山近郊緑地保全区域、稲城ふれあいの森

主な史跡・名勝

- 立川市 : 普濟寺、根川の桜堤、阿豆佐味天神社
- 府中市 : 分倍河原古戦場、
- 小平市 : 小川寺、神明宮、八小遺跡
- 東村山市 : 正福寺千体地藏堂、徳蔵寺(板碑保存館)、梅岩寺のケヤキ、久米川古戦場、下宅部遺跡
- 福生市 : 熊川神社
- 稲城市 : 三沢川の桜並木、穴澤天神社、青渭神社

風致地区

- 八王子市 : 多摩陵風致地区
- 立川市 : 玉川上水風致地区(他に小平市など)、五日市街道風致地区
- 小平市 : 東京道風致地区、青梅街道風致地区
- 東村山市 : 北山風致地区

計画的な都市づくり

八王子、町田、青梅、日野などは、かつての宿場を基盤に、石灰、木材、織物などの地域の産業を背景に市街化した。

また、立川、拝島、福生などは、早くから軍需産業都市として発達してきた。八王子、立川、青梅、町田、多摩ニュータウン、府中、国分寺などの駅周辺において、それぞれの市街地を基盤に、駅前の再開発などにより、商業・業務ビルが立ち並び、にぎわいのある景観を形成している。東大和駅、秋川駅周辺や私鉄沿線の主要駅周辺では、かつて畑作が中心であったまちが急速に住宅都市として発展している。

丘陵地では、昭和 40 年代以降、郊外における大規模なニュータウン開発が各所で進み、起伏のある地形に沿って、計画的に形成された都市が広がっている。

さらに、首都大学東京、中央大学、多摩大学などの大学の立地が多く見られるほか、企業の研究機関、先端産業の立地や、多摩都市モノレールの整備が進み、圏央道が開通するなど、かつての住宅団地の集合体から、住、商、産、学などの複合都市へと変貌を遂げている。

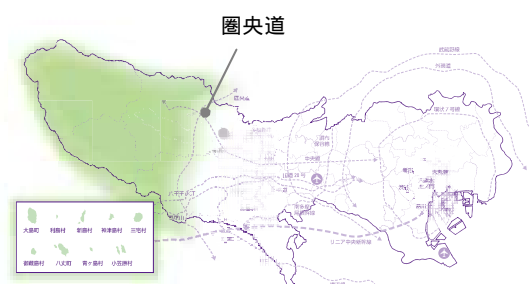
関連する要素

主な拠点

八王子、立川、青梅、町田、多摩ニュータウンなど

4 自然環境共生域

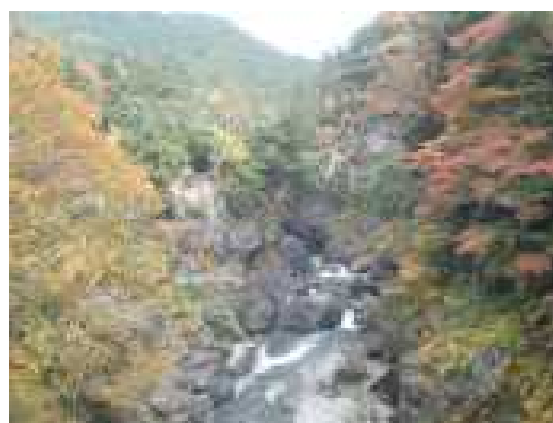
この地域は、おおむね圏央道外側の西多摩地域の山間部を中心とする地域及び伊豆・小笠原諸島で構成されている。多摩山間部は、豊かな自然が残された森林を有し、隣接県の山間部と一体となって、水源地やレクリエーションエリアとしての多様な役割を担っている地域である。島しょ地域は、豊かな海洋資源が美しい海洋景観を形成し、独自の文化を持つ地域である。



図表 1-5 自然環境共生域位置図

山岳や渓谷などの自然美

多摩の山地では、山岳と渓谷がつくる自然美が特徴であり、美しい森林や秋の紅葉など、自然を求める都民に憩いを与える環境を形成している。山岳地帯には、秩父多摩甲斐国立公園、明治の森高尾国定公園、都立高尾陣場自然公園、都立秋川丘陵自然公園が指定されており、良好な自然景観が残されている。



鳩ノ巣渓谷

秋川や多摩川などの上流では、自然豊かな溪流が美しい景観を作り出し、払沢の滝や百尋の滝、吉祥寺滝など、特色ある滝が各所に見受けられる。多摩川の上流にある奥多摩湖は、都民の大切な水源地にもなっている。

地質は、中生代の地層や古生層が中心で、急峻な地形をなし、日原鍾乳洞やツツラ岩、神戸岩など、特殊な地形が各所にあり、観光資源となっている。

奥多摩周遊道路などの観光ルートを始め、キャンプ場やハイキングコースなどの整備が進み、豊かな自然を楽しむ身近な山岳のレクリエーションエリアとして、都民に親しまれている。

関連する要素

主な山岳

高尾山、陣馬山、御岳山、日の出山、高水山、惣岳山、岩茸石山、白杵山、市道山、大岳山、刈寄山、馬頭刈山、三頭山、御前山、川苔山、本仁田山、棒の折山、倉戸山、六ツ石山、鷹ノ巣山、七ツ石山、雲取山

主な渓谷・滝・洞窟等

青梅市 : 御岳渓谷、吉野峡、綾広の滝、七代の滝

あきる野市 : 秋川渓谷、養沢鍾乳洞、大岳鍾乳洞、三ッ合鍾乳洞、六枚屏風岩、南沢鳥ノ巣石灰岩産地

日の出町 : 白岩滝、岩井のエントモノチス化石産地

檜原村 : 払沢の滝、中山の滝、吉祥寺滝、三頭の大滝、ツヅラ岩、神戸岩

奥多摩町 : 鳩ノ巣渓谷、日原渓谷、惣岳渓谷、百尋の滝、日原鍾乳洞、白髪大岩

地域に根ざした民家や生活文化

主要な河川沿いに街道が通り、これに沿って古くからの集落が形成されている。青梅街道沿いに JR 青梅線が走り、多くのトンネル、鉄橋は、かつての石灰運搬鉄道時代の歴史を伝える土木遺産となっている。

街道沿いの集落には、社寺が点在するほか、江戸末期の山間部落の娯楽施設として、農民の手によって建てられた太子堂舞台など、史跡も多く、集落に固有の素朴な行事も伝わっている。

国の重要文化財に指定された旧小林住宅をはじめ、古くから地域に根差した生活文化を反映する古い民家が散見される。檜原村数馬地区のように、兜造りの民家が残る、特徴ある景観を形成している地区も見られる。



丹三郎屋敷長屋門

関連する要素

主な寺社・仏閣、史跡・名所

青梅市 : 御嶽神社、海禅寺、辛垣城跡

あきる野市 : 広徳寺、大悲願寺

日の出町 : 東光院妙見宮、新井薬師

檜原村 : 吉祥寺

奥多摩町 : 小河内神社、太子堂、数馬の石門、小河内太子堂舞台

植林地が広がる山並み

古来より深い森林に囲われており、林業はこの地域の主要な産業である。植林地の広がる急峻な山並みは、地域の産業を表す特色ある景観となっている。

こうした森林の緑は、東京全体の自然環境面からも重要な役割を担っているが、一方で、現在では森林の粗放化が進んでいる。

美しい海岸線など、豊かな自然の宝庫

伊豆七島と小笠原諸島は大小 30 余りの島から成り、富士箱根伊豆国立公園、小笠原国立公園の指定区域となっている。

伊豆諸島は、富士火山帯が太平洋につながる火山列島で、玄武岩、流紋岩、安山岩等から成る火山性地質構造を持ち、大島の三原山、三宅島の雄山、八丈富士などの火山のほか、砂浜や海蝕崖、リアス式海岸などが特徴ある景観を形成している。大島の桜株や新島における東要寺のイヌマキとい



小笠原村父島の二見港周辺

った大木、ナギの自生地、御蔵島の鈴原湿原など、各島に固有の自然景観資源も多い。

小笠原諸島は、亜熱帯性海洋気候に属し、本土には珍しい植物や動物を見ることができ、美しい海洋景観も広がっていることなどから、豊かで独特な自然の価値が認められ、世界自然遺産に登録されている。海水浴場やダイビングスポットが多く、マリンスポーツのほか、ホエールウォッチングなど、豊かな自然景観を生かした観光・レジャーが盛んである。

関連する要素

主な自然景観

- | | |
|--------|---|
| 大島 | : 三原山、碁石浜、行者浜、乳が崎、千場崎海岸、シイの木山のシイの木群叢、野増大宮のシイ、大島の桜株、差木地の大クス、大島海岸植物群落、大砂漠地帯、千波地層断面、おたいね浦の岩脈と筆島、潮吹き鼻 |
| 八丈島 | : 八丈富士、三原山、名古の滝、ヘゴ自生北限地帯、八丈小島のハマオモト群落、六日ヶ原砂丘、南原千畳岩 |
| 新島・式根島 | : 羽状浦海岸、前浜海岸、間々下海岸、東要寺のイヌマキ・ナギ自生地、白ママ層海蝕崖 |
| 神津島 | : 天上山、前浜海岸、長浜海岸、孫平根、返浜、多幸湾、沢尻湾、釜が下洞窟、うずまき岩、櫛が峰、メッポー山・ブットーシ岩 |
| 三宅島 | : 雄山、サタド - 岬、三池浜、伊豆岬灯台、メガネ岩、新漣池、大路池、堂山のシイ、神着の大桜、島役場跡のビャクシン、赤場暁、雄山の火口 |
| 御蔵島 | : 御山、御代ヶ池、白滝、白ヒゲの滝、鈴原の湿原植物群落 |
| 青ヶ島 | : 大凸部、池之沢 |
| 小笠原諸島 | : 中央山、乳房山、御幸之浜、宮之浜、境浦、小港、常世の滝、南島 |

それぞれの島に伝わる歴史と文化

各島の歴史は様々だが、神津島の半坂遺跡では島の原産である黒曜石の石器が発見されている。この石器は、御蔵島のゾウ遺跡や大島の岩陰遺跡などからも見つかって

いることから、所によっては縄文時代から人が住み、島と島とを結ぶ交流があったことが知られている。

源為朝をはじめ、古くから武士や町人、僧侶などが島々に流されたが、流人の中には島の文化を高めた英雄や著名人もいて、これらの人々の墓が各島の歴史や文化を伝えている。

島しょ独特の気候風土から培われた景観として、台風から家を守る玉石垣が八丈島や小笠原諸島では残っている。



八丈島の玉石垣

また、くさや等の水産加工業をはじめ、椿油、観葉植物やエビネランの栽培、島焼酎、黄八丈、抗火石など、各島の気候や風土を反映した地場産業が息づき、椿畑、アロエ園、抗火石採掘場などが、地域に特有の景観を作り出している。

関連する要素

主な寺社・史跡など

- | | |
|--------|---|
| 大島 | : 鉄砲場の岩陰遺跡、武田信道及び家臣供養塔並びに屋敷跡、大島竜の口遺跡、大島下高洞遺跡、役行者窟、秋広平六墓、踊子の里、源為朝の碑、「波浮の港」歌碑 |
| 八丈島 | : 八重根のメットウ井戸、八丈島湯浜遺跡、梅辻規清墓、八丈島役所跡、宇喜多秀家墓、近藤守真墓、高倉（十二脚倉）、高倉（六脚倉）、一字一石供養塔、長戸路屋敷 |
| 利島 | : ケッケイ山遺跡、阿豆佐和気命本宮、大山小山神社、大石山遺跡、開島記念碑 |
| 新島・式根島 | : 原町の井戸、上木甚兵衛墓及び三島勘左衛門石像、吹之江遺跡、天宥法印墓、三松山長栄寺（流人墓地） |
| 神津島 | : 阿波命神社、流人塚、オタア・ジュリア墓 |
| 三宅島 | : 三宅島役所、大里遺跡、ココマ遺跡、生島新五郎墓 |
| 小笠原諸島 | : モットレイ夫妻墓・良志羅留普（ロース・ラルフ）墓、小笠原貞頼神社、旗立山、小笠原島庁跡、咸臨丸乗組員の墓地、ナサニエル・セーボレーの墓 |
| 御蔵島 | : ゾウ遺跡、奥山交竹院の墓 |
| 青ヶ島 | : 佐々木次郎太夫墓（中興開山文塔） |